

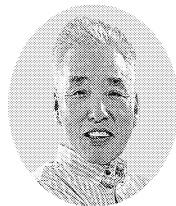


01日付 山城A朝刊通し
2020年04月28日20時27分31秒
PDFゲラ出力 箱組

◎E・新随想箱
ID=CC120709000000472
校正回数=65 79倍 0× 28行 0

随想やましろ

娘がSNSを通じて日々送ってくる孫の写真もパソコンアップと言えらるかもしれない。昔ながらアルバムを取り出してページを繰るところですが、スマホなら簡単に過去の写真から成長の様子を振り返ることが出来ます。単なる思い出ではなく将来につながる情報の更新と言えるかもしれません。



門阪 庄三

専門家や施政者といえ

しかし、新型コロナウイルス感染症についてのこの頃のニュースは後につながら更新になっていないことがあります。非常に気になるのでテレビやタブレットの画面で大事と思われる情報を毎日確かめますが、多くの情報は数日のうちに削除されてゴミ箱に行ってしまう。そもそもメディアから与えられたこの感染症についての情報源そのものに限界があるのかもしれない。

混乱、そして終息へ向けて

らされた情報が新たな不安をつくってしまう。不安の連鎖というのでしょうか。

情報のことはさて置き、最も忌避すべきは圧倒的なウイルスの力です。人すべて普通の人間にすぎないわけですから、ウイルスに抗しえない時があります。自分が人一倍強い、運の良い人生を送ってきたと言っても、それは幻覚で、医学的に特別な人間というのは存在しません。しかしながら人間は不思議な生き物です。そのことは科学と文化によってもたらされたと言ってよいと思います。

知恵を蓄えてきた歴史が科学という財産をつくらせてきました。このようなパンデミックの時には、平時から蓄えてきた科学が社会と生命を守つ

てくれます。それだけではなく、人は文化を家族や共同体という器の中でつくってきました。その器の中でお互いの生活を守ってきた歴史があります。あるときは危機意識を共有し、その危機を乗り越えてきました。迫りくる危険には共同体の中で安心を醸成してきたと思います。このような時こそ支え合わねばなりません。

そして守らなければいけないことがあります。20秒の手洗いを繰り返しましょう。大事な人と会う時はマスクをして、でも笑顔が相手に分かるように目で笑ってください。次の出会いのために短い時間で別れましょう。「お大事に」と声を掛け合ってください。(かどぞか内科クリニック)